

【気象及び火山活動状況】 1月26日～2月11日

今期間の気象状況は、前半は移動性高気圧に覆われ、後半は冬型の気圧配置のため晴れる日が多くなりましたが、2日には低気圧の接近により神着で91.0mm、伊豆68.5mm、阿古65.5mm、坪田55.0mmの日降水量を観測しました。

火山の活動状況は、この期間、三宅島での有感地震はありませんでした。噴煙の状況は28日に白色の噴煙が火口上1,200mまで上がっているのが観測されました。

火山ガス(SO₂)の、放出量調査は9日に警視庁の協力により実施し、約3,000～約8,000トン/日を観測しました。

島内のガス濃度(SO₂)の、今期間最大値は2日に三宅島空港、3日に村役場でそれぞれ4.1ppmを観測しました(東京都環境局観測)。

【春の足音】

朝、東の彼方の地平線から金色の輝きを放って昇ってくる太陽は一日の始まりにふさわしい見事なものです。

立春を過ぎた頃から暖かな春の陽射しを受けて竹藪の中から「うぐいす」の鳴く声が聞こえてくるようになりました。また、朝夕の陽が少しずつ延びてきていることも感じられるようになって早朝から小鳥の囀る鳴き声も聞こえるなど確実に春が近づいているようです。

二月の始めから一週間吹き続いた西の風でここ役場でも火山ガスの影響を受け、庁舎から一步外に出ると刺激臭に覆われ咳き込むことが多く職員を悩ませていましたが、ようやく北東の風に変わり影響を受けず作業ができるようになりました。

雄山からの火山性ガスは依然として放出されており何時止まるのかは誰にも予測はつきませんが島では復旧作業が急ピッチで進められています。

【滞在型及び日帰り帰宅事業の実施状況】

(1) 日帰り帰宅事業の実績

1月31日	神着地区	参加者	4名
2月 6日	伊豆・伊ヶ谷地区	参加者	13名

(2) 滞在型帰宅事業

1月31日から2月1日	神着地区	参加者	28名
2月 3日から 5日	神着地区	参加者	22名
2月 7日から 8日	伊豆・伊ヶ谷地区	参加者	34名
2月10日から 12日	伊豆・伊ヶ谷地区	参加者	51名

(問い合わせ先：三宅村災害対策本部 電話 04994-6-1549)

火山ガスと健康影響に関する Q&A

Q 夏は暑く、また汗をかくのでガスマスクをするのがつらいのですが、ガスマスクを外してタオルで拭いても大丈夫？

A 汗を拭くくらいの時間であれば大丈夫です。

汗を拭いたらすぐにガスマスクをつけて下さい。

ガスマスクを外すことは好ましくありませんが、二酸化硫黄は汗にも溶け皮膚に炎症を起こす可能性がありますので、適宜汗を拭いて下さい。

